

「令和5年度 消防庁女性活躍ガイドブック」の作成について

消防・救急課

1 はじめに

消防庁では、平成27年に開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」の提言内容を踏まえ、「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について（平成27年7月29日付け消防庁次長通知）」を発出し、全ての消防本部との共通目標として、「全国の消防吏員に占める女性消防吏員の割合を、令和8年度当初までに5%に引き上げることを掲げています。

また、昨年度には「女性消防吏員の活躍推進に向けた取組の更なる推進について（令和6年3月29日付け消防庁消防・救急課長通知）」を発出し、より一層の取組推進に向けた留意事項を示しています。

2 消防庁女性活躍ガイドブック

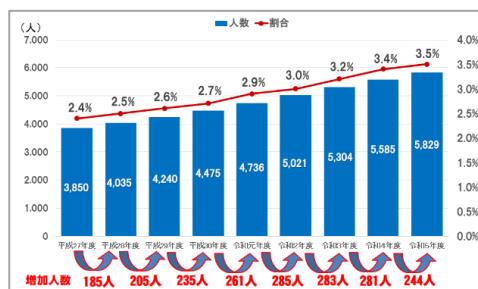
消防本部における参考となる取組事例を全国で共有し、様々な消防本部での女性消防吏員の活躍推進に向けた更なる取組に資することを目的として、「消防庁女性活躍ガイドブック」を作成し、公表しています。平成29年度に初めて発行し、令和5年度で7回目となります。

具体的には、女性消防吏員の採用や女性消防吏員が働き続けやすい環境作りに関する事例のほか、平成30年度から実施している「女性消防吏員活躍推進モデル事業」において採択された、全国の消防本部における先進的な取組事例についても紹介しています。

3 女性消防吏員の数、割合等の現状（第3章関係）

令和5年4月1日現在、全国の722消防本部のうち628消防本部で5,829人の女性消防吏員が活躍しており、全消防吏員に占める女性の割合は3.5%となっています。

全国の消防吏員に占める女性消防吏員の割合は、平成27年以降、毎年0.1～0.2%ずつ増加傾向にあるものの、現在は「3.5%」であり、目標である「令和8年度当初までに5%」の達成に向けて、女性消防吏員の活躍に関する取組をより一層推進する必要があります。



<消防吏員に占める女性割合の推移>

4 消防本部における効果的な取組事例の紹介（第1章関係）

以下①～④の項目について、各消防本部の具体的な取組事例を紹介するとともに、⑤で若手女性消防吏員の生の声を紹介しています。（次頁参照）

- ① 女性消防吏員の採用拡大に向けた取組
- ② 女性専用施設・装備の改善
- ③ 適材適所を原則とした職域の拡大
- ④ ライフステージに応じた様々な配慮
- ⑤ 若手女性消防吏員の声

5 「女性消防吏員活躍推進モデル事業」の紹介（第2章関係）

女性消防吏員の更なる活躍推進に関する先進的な取組として令和5年度に採択された以下の4団体の事例を紹介しています。（次々頁参照）

- ① 京都市消防局（京都府）
- ② 西宮市消防局（兵庫県）
- ③ 松江市消防本部（島根県）
- ④ 松山市消防局（愛媛県）

6 おわりに

消防分野においても、女性の力を最大限に活用して組織の活性化を推進することは重要課題です。引き続き、消防庁においても各消防本部が行う取組を支援していくため、SNS等を通じた消防業務の魅力の発信や、各種イベント等の開催による採用広報活動の強化等を行い、女性消防吏員の活躍推進に向けた取組を強化していきます。



◀ 過去のガイドブック一覧



◀ 令和5年度版

<ガイドブック掲載事例の紹介>

【消防本部における効果的な取組事例の紹介】

令和5年度版
ガイドブックはこちらから▶



① 女性消防吏員の採用拡大に向けた取組



女性向け職業説明会
郡山地方広域消防組合（福島県）

ケーブルテレビによるPR活動
姫路市消防局（兵庫県）

② 女性専用施設・装備の改善



女性専用施設の整備
大津市消防局（滋賀県）

女性用活動服の製作
高山市消防本部（岐阜県）

③ 適材適所を原則とした職域の拡大



消防救助技術指導会県内初の女性チーム出場
北アルプス広域消防本部（長野県）

女性消防吏員を緊急消防援助隊員として派遣
座間市消防本部（神奈川県）

④ ライフステージに応じた様々な配慮



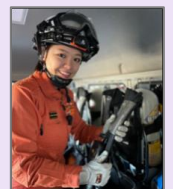
産前・産後・育休
サポートプログラムの作成
磐田市消防本部（静岡県）

育児休業等取得者支援
プログラムの策定
東部消防組合消防本部（沖縄県）

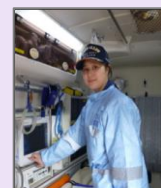
⑤ 若手女性消防吏員の声



姫路市消防局（兵庫県）
令和4年度採用 消防士



磐田市消防本部（静岡県）
令和3年度採用 消防士



北アルプス広域消防本部（長野県）
令和5年度採用 消防士



令和5年度版
ガイドブックはこちらから ▶

【「女性消防吏員活躍推進モデル事業」の紹介】

女性消防吏員の活躍推進を通じた消防力の充実強化に向け、全国の消防本部にとって参考となる先進事例を構築し、取組の横展開を図っていくことを目的に、国の委託事業としてモデル事業を実施しています。

《委託団体》 都道府県、市町村（特別区及び一部消防事務組合を含む。）及び消防学校

《委託費》 1団体 20万円～200万円

《委託内容》 消防分野における女性消防吏員の活躍をより積極的に推進することを目指す事業

《応募方法》

例年、消防庁が発出している「消防本部における女性消防吏員活躍推進モデル事業の委託に関する提案募集について」（消防・救急課長通知）をご確認ください。

※今年度の募集は終了しております。

メタバースを用いた消防署見学及び業務説明会

京都市消防局（京都府）



【事業概要】

若い世代のニーズに合わせて、新しい手法で「京都消防」の魅力を伝えるため、メタバースを用いたデジタル空間の消防署「バーチャル京都消防」を開設



阪神タイガースとコラボしたPR動画の制作及び放映

西宮市消防局（兵庫県）



【事業概要】

西宮市を本拠地とするプロ野球球団阪神タイガース（トラッキー）と当市女性消防職員がタイアップしたPR動画を制作し、映画館で放映するとともに、SNS等で動画を公開



日本航空株式会社とタイアップした研修

松江市消防本部（島根県）



【事業概要】

男性職員のアンコンシャスバイアスの撤廃や意識改革を目的に階層別に分けた各種研修や産休・育休明け職員復帰プログラムの作成研修を実施



メンター制度の確立・女性の体調に関する研修会

松山市消防局（愛媛県）



【事業概要】

女性医師を招いて、生理概論や女性の体調変化の対応等を学ぶ「女性の体調に関する研修会」や、「メンター制度の確立」、経歴の紹介、ライフワークバランスの工夫等を記載した「女性消防吏員のロールモデル集の作成」を実施

